

令和8年度 清水町立御影こども園の保育と教育【企画編】

保育理念

心をかよわせ、互いに響きあう、感性豊かな子どもを育む

保育・教育目標

げんきな子

- 元気なあいさつ
- 自分の好きなこと、得意なことを見つけ伸び伸びと遊ぶ
- 友達と仲良く遊ぶ

やさしい子

- 相手の気持ちを理解し、思いやりをもって接する
- 素直に話を聞き、人の為に何かできる
- 動植物に関心を向け、生き物に向ける優しい心

がんばる子

- 友達と一つの目的に向けて力を合わせる
- 失敗してもそこから学び、何度でも挑戦する
- 身近なものに関心を向け、不思議に思ったことを探求する

保育・教育内容の充実

- 育児担当制の導入
- 異年齢保育の充実
- 園内外研修の充実
- 園評価の実施

御影こども園の子ども達

- 父母と先生の会活動
- 保育参観・クラス懇談
- 連絡張の活動
- ICT活用による発信
- 保護者アンケートの実施

保護者との連携

地域・関係機関との連携

- 預かり保育
- 地域開放事業（げんきひろば）
- あさひ壮の方々との交流
- 小学校との連携でなめらかな接続
- 中学校の職業体験受け入れ
- 地域行事への参加
- 発達支援センターによる切れ目のない発達支援

養護と教育を一体とした保育活動

養護

情緒の安定
生命の維持

教育

身体的・社会的・精神的発達
健康・人間関係・環境・言葉・表現

幼児期の終わりまでに
育てほしい10の姿

0・1・2歳児

育児担当制

- 特定の保育士が特定の子どもの育児を継続的に行うことによって、一人一人の子どもに対して丁寧で確実な援助をしています。

3・4・5歳児

異年齢保育

- 年齢の異なる子ども同士の関わりを通して、思いやり、社会性、自主性そして自己肯定感を育みます。

生活と遊びの連続性と質の高い保育（保育の環境の質と保育の質の両方）が必要であるため、保育者同士、協同しながら試行錯誤を繰り返し、よりよい環境づくりを模索しています。